

カイトと
リュウさんの

博物館へ行こう

その1 大阪府立弥生文化博物館



今まで色いろ紹介して
きたのに、まだ何か
あるんか？

今回は、ぼくらがいる
弥生文化博物館と
池上曾根史跡公園を
案内するよ。



踏み切りを渡った先に
ある茶色に舗装された
道をたどっていくと、
迷わずに史跡公園へ
いけるんだよ。

そうなんや。
弥生博と池上曾根史跡
の他にはあんまり外に
行かんから、知らん
かったわ。



じゃあ、これは
知ってるかな？

最寄り駅の
JR信太山駅やな。



車が多いから
気をつけてな。

国道26号を横断したら
史跡公園に到着だよ。



昔ながらの町並み、
落ち着くなあ。



池上曾根史跡公園
いづみの高殿

相変わらず
大つきいなあく!!

だいたい
80枚ぶんの
広さだよ!



「弥生の杜」も
好きやで〜!

木陰が
気持ちいいね。



復元された
建物は他にも
あるよ。



そして
史跡公園から
南へ歩いてすぐ
のところに...



ウマイもん
食べられる
かな。

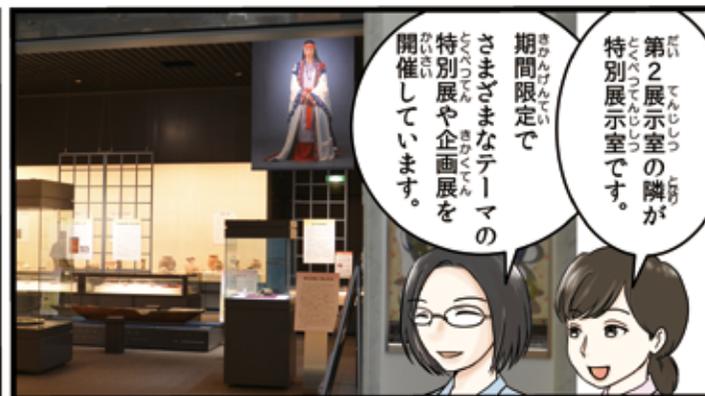
史跡公園では
いろんなイベントが
あるから、要チェック
だよ。

カイトとリユウさんの
博物館へ行こう



まだ見ぬ博物館では、新しい発見と出会いがアナタを待っているはず。

カイトとリユウさんの
博物館へ行こう



ぜひ足をお運びいただき、豊かで奥深い歴史と文化にふれてみてください！

北原：カイトくん、リユウさん、ご案内をありがとう！ここからは私たちと一緒に行きましょう！

柴田：ど〜も、改めまして、学芸員の北原&柴田です。二人合わせてハフュー！

北：はい、弥生文化博物館へようこそ！「弥生博」って呼んでね。この博物館は、名前のとおり、日本全国の弥生文化について紹介する、唯一の博物館です。ここからは、弥生博の見どころや、活動内容を紹介しますね。



柴：まずは、受付で入館手続きをしてくね。大人は、特別展や企画展の期間で入館料が変わります。しかし！中学生以下は、いつでも入館が無料です☆

第1展示室 『目で見る弥生文化』



柴：次に、こちらのタイムトンネルを通って弥生時代へタイムスリップしましょう。「今から私は弥生人」を10回唱えてから、通ってくださいね。はい、これお約束。

北：無事タイムスリップできたみたいだね。おつ、早速、弥生時代の家族が団らんしている場面に出くわしましたよ。おいしそうな食事が並んでいますね。突撃！弥生の晩御飯ツッ
リユウさん：あれ？奥にカイトによー似



た犬がおるような…

カイト：気がついた？ここはボクのお家なんだよ！ああやって戸口に立って怪しい人やケモノが来ないか見張ってるんだ。

北：カイトは働き者だね！さて、この家族の団らん風景には、衣食住+身体の特徴まで、二〇〇年前の人たちの生活がぎゅーっと凝縮されているんですよ。そばに設置しているタッチパネル



ミステリアスクイーン
卑弥呼

に触れると、詳しい情報を知ることができます。

柴：では、ここで突然ですが、縄文時代から弥生時代になっておこった衝撃的なこと、ベスト3の発表です。

第三位、戦争！第二位、金属器の登場！そして第一位は！水田での米つくりです！

リ：何かテレビ番組みたいやなく。

北：米作りをするようになると、人びとの生活は大きく変わりました。また、水田を造る道具の鍬や鋤の先にはやがて鉄が使われるようになって、作業効率はぐつと良くなっていきます。そして、お米は蓄えることができるから、たくさん蓄えているムラと、そうでないところの差が

カイトとリユウさんの 博物館へ行こう



できて、残念なことに争いが起きるようになったんだ…

柴：「だけど！争ってばかりはいられない！そう、人は話し合いでわかりあえる。ニンゲンダモン！」

北：「そこで登場するのが、卑弥呼さんです。カ：「おおっ！ついに登場だね。」

柴：「卑弥呼さんといえば、倭国の国々が共に立てた女王です。鬼道（呪術）をつかってクニを治めた、ミステリアスクイーンですね。一〇〇〇人の侍女と一緒に宮室にこもり、姿は人に見せなかつ



たそうですよ。」

卑弥呼は、外国にも使者を何回か送っています。中国の王さまからは「親魏倭王」の称号と印をもらったそうですよ。そうした外交を支える原動力になったのが「船」の進化ですね。

リ：「せやなく船がないと、海を越えられないから、大陸・朝鮮半島のものはなんも運ばれへんもんな。」

北：「こうやって運ばれてきた品々を、より良いものに変化させ、技術を向上させていくのはすごいですね。そういう積み重ねの先に、現代の私たちがいるんですよ。」

カ：「弥生時代のこと、遠い昔のことでは

柴：「ここは『池上曾根ワールド』と題して、国の史跡である池上曾根遺跡の発掘調査で出土した資料を展示しています。そう！弥生博は、池上曾根遺跡のサイト



第2展示室 『池上曾根ワールド』

なく、身近に感じてもらえたかな？

柴：「皆さんに弥生時代をもっと身近に感じてほしくて、『卑弥呼と出会う博物館』を『コンセプト』に、学術的に推定復元された卑弥呼さんの食べ物や宝石箱、同時代の鏡などを展示しています。謎の女王、卑弥呼の姿に想いを馳せてみてくださいね☆

柴：「それとね！池上曾



すよ。知ってる遺跡があったかな？

リ：「ワシが普段おるんもこの部屋や、遊びに来てやろ。ほら見てみ！これがワシが描かれた壺！かつこええやろ。」

カ：「おお！リユウさんの目が輝いてる…」



ミュージアムとしての役割があるのです。」

北：「足元を見ると、大きな地図があります。池上曾根遺跡はもうこのこと、周辺にある弥生時代の遺跡を紹介しています。それぞれの遺跡の広さや場所を知ることができま

柴：この部屋では、全国の弥生時代に関連する特別展示や、大阪などの文化を紹介



特別展示室

根遺跡の最大の特徴といえば、大型建物！この大型建物が発見された時は、あまりの大きさに日本中がびっくりしたんだけど、さらに！建物の柱を調べると、そのうちの一本が、紀元前五二年に切られたってわかったの。これは当時の教科書の一部を書き換えるほど、ビッグニュースだったんだよ。
 リ：やっぱり、ワシが住んでた池上曾根遺跡はすごいなあ！

柴：さてさて、玄関入ってすぐこの場所も、弥生博の魅力の一つです。天井が吹き抜けになっていて、とても広く感じます。普段は、現代の技術で作った「平成の銅鐸」



で、ぜひみなさんで一緒に来てください。その中でも、夜に開催する「トワイライトコンサート」は、昼間の雰囲気とは違って、とても幻想的で私のイチオシです☆

介する企画展などをおこなっています。期間限定だから、お見逃しなく！
 また、発掘調査などの最新成果を紹介する「スポット展示」や、他の博物館と連携して資料を紹介する「コーナー展示」などもしているよ。
 北：そうそう、カイトの復元像や、リユウさんの土器も、全国の博物館の展示に出るために出張することがあるんだよね。
 リ：ワシら人気者やからなく。
 北：連携してつながる、博物館の「輪」展示やイベントを通じて、大きな輪を広げていけたらいいね。

エントランス

柴：さてさて、玄関入ってすぐこの場所も、弥生博の魅力の一つです。天井が吹き抜けになっていて、とても広く感じます。普段は、現代の技術で作った「平成の銅鐸」

を展示していますよ。
 リ：いつ見ても大きな銅鐸やなあ〜！ワシとどっちが大きいんやろ。
 北：「平成の銅鐸」と背比べをしてみよと、その大きさを体感できますよ！おつと、リユウさん、背伸びしない〜！
 柴：そして、この広さを活かして様々なイベントを開催しています。
 たとえば：「コンサート」！子ども大人も楽しめるコンサートをめざしているの



弥生博の新たな試み
 北：弥生博の活動は展示だけではありません！他にも、毎月第三土曜日の「子どもファーストデイ」、第二・第四土曜

シです☆
 北：エントランスのイベントはまだまだあります。絵画や写真など、創作活動をしている人たちのための展示「ミニギャラリー」も開催しています。時には関連したワークショップを企画して、体感しながら展示を楽しむこともありますよ。
 柴：その他に、体験コーナーでは、かんとうい貴頭衣を着てみたり、本物の土器やたくさんさんの復元品をさわられるよ。やさしくさわってみてね。

カイトとリュウさんの 博物館へ行こう

日の「土器・銅鐸バズル」など定期的に開催しているイベントをはじめ、学校の長期の休みに合わせて、スペシャルな体験イベントも企画しています。



柴：また、新たな試みとして「考古楽カード」があります。弥生文化や考古学を親しみやすく解説するほか、トランプやカルタ、属性パトルなど、いろいろな遊び方ができるカードなんですよ。楽しく集めて勉強しちゃおう！

カ：ほら、アレもわすれないでよ！「弥生博のカイトとリュウさん」のマンガ！

柴：マンガは、ホームページや第一展示室前のタッチパネルで見ることができるよう。ホント、カイトとリュウさんは、大活躍だね。

リ：ワシらは館内に備えつけの音声ガイドでも、弥生時代と弥生博の魅力を語ってるで〜！ぜひ、聞いてみてや。ワシの生声、かっこいいんやで〜！

弥生博の情報発信中！

カ：たくさんイベントをしているけど、どこで情報をゲットしたらいいのかな？みんなにお知らせしたいよね。

北：おつ、いい質問ですね！イベントなどの情報はホームページはもちろんのこと、最近はフェイスブックでも情報発信しています！

リ：お〜、最新記事がどんどんアップされとるで！みんなチェックしてや！

博物館へ行こう！

柴：さて、盛りだくさんで紹介しましたが、いかがでしたか？実際に来ると、楽しさを体感できると思いますよ！みなさんでぜひいらしてください。

リ：そういえば、ワシらは弥生博のことはよく知ってるけど、他の博物館へ行ってゆつくり見学したことがないなあ。

カ：そうだね。ぼくたちと同じ、博物館のキャラクターがいるかもしれないよね！友達になりたいなあ。

北：そしたら、他の博物館へ行ってみる？ちよろど、とある博物館からお手紙が届いているよ。もしかしたら招待状かな？

リ：よっしゃー！ワシとカイトがちょっと

行つたるわ。

カ：楽しそう〜ワクワクするね！

柴：ふたりとも、気をつけて行つてらっしゃい！



平成二十七年年度文化庁
地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
「カイトとリュウさんの博物館へ行こう」
その1 大阪府立弥生文化博物館」
企画・編集：館キャラ連携プロジェクト実行委員会
大阪府立弥生文化博物館
マンガ：宮野ミケ
テキスト：大阪府立弥生文化博物館 柴田妃三光・北原翔子
発行日：平成二十七年八月五日
印刷所：株式会社 中島弘文堂印刷所

大阪府立弥生文化博物館 Museum of Yayoi Culture

住所：〒594-0083 大阪府和泉市池上町 4-8-27
電話：0725-46-2162
開館時間：9時30分～17時 (入館は16時30分まで)
休館日：月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は翌日) 年末年始
<http://yayoi-bunka.com>
<http://www.facebook.com/YayoiMuseum>

ACCESS
JR阪和線「信太山」駅下車 西へ約600m
南海本線「松ノ浜」駅下車 東へ約1,500m
【大阪方面からお越しの場合】
JR天王寺駅から和歌山方面行(阪和線)快速電車にご乗車になり、大阪駅からお越しの場合は、「開空・紀州路快速」をご利用になると便利です。鷹から3駅目が信太山(しんたう)駅です。
国道26号「池上町」交差点 南西角 P普通車72台(無料)